

# 高知県1漁協合併特集「この人に聞く」!

## ～No.1 高知県漁協合併推進本部長 竹村由之さん～

高知県海洋部

# か つ お 通 信

高知市丸の内  
高知県海洋部  
発行人 坂東 隆志  
編集人 海洋 企画課  
定 価 無料

高知県では、漁業を取り巻く厳しい環境を生き残るため、また、「魚価の向上」という漁業者の最大の要望に応えていくため、県下の全漁協を一元化することにより、経営基盤を強化する「高知県1漁協構想の実現」に、漁協系統団体とともに全力で取り組んでいます。

合併の是非を問う県下各漁協一斉に開催する臨時総会という最大のヤマ場が、目前(8月)に迫ってきました。編集部では今回から3回シリーズで、県1合併に関わる方々に、県1合併の必要性や現在の取り組み状況等についてお伺いする特集を組むこととしました。今回は、高知県漁協合併推進本部長の竹村由之さんです。

合併推進本部が組織された経緯、目的は?

「平成10年から県内を7つの漁協に統合する構想に取り組んできましたが、漁業環境等の悪化から、これが達成されても経営的に成り立たない状況となりました。時期を合わすように議会での県1漁協構想の知事発言も後押しとなり、県漁連が1漁協構想への方針転換を決定したことから、系統団体が具体的に進める組織として設立しました。」

未来をきく  
漁協合併

平成19年3月下旬  
県内各漁協一斉に合併総会を開催



合併推進啓発ポスター

現在の業務の進捗状況は?  
「各漁協の最終の財務調査を5月末で終了し、6月から各地で組合員に説明していきます。スケジュールどおり、順調に進んでいます。」

最新の財務状況は?

「パッチの漁がまとまった中央地区、まき網が好調な宿毛地区は状況は良かったのですが、大型定置、サバ釣り、メジカの不振で室戸、土佐清水は非常に厳しい。漁協の財務も漁模様が直接反映された格好です。」

総額で1億2千万円にもなる役員報酬など事業管理費の圧縮、系統3段階制全漁連1県漁連1漁協への2段階制(全漁連1漁協への移行による燃油等の購買コストの圧縮、市場のオープン化による市場の活性化などです。)

一方、主なデメリットは?

「漁村の利便性の低下は一定やります。漁協の合併は合併しなくても十分やっています。当面は大丈夫ですが、漁業者の減少、資源の悪化等で、5年後10年後には、相当厳しい状況に陥ることは想像に難くないと思います。」

# 県1漁協を推進しよう

## ● 購買は漁協を利用しよう

## ● 預金、公共料金は信漁連へ

むを得ませんが、支所の統廃合やリストアップには行かず、約50名の「団塊の世代」の退職に併せ、段階的にいきます。また、職員の待遇の不公平感もありますが、7つのブロック毎に段階的に統一していく計画です。」

県1漁協の運営は、その7つのブロックに自主性を持たせるといいますが、漁業権の取扱いや、他ブロックの赤字の補填を心配する声もあります。漁業権は従来どおり旧漁協単位で取り扱います。合併の際にやむを得ず赤字を持ち込む漁協は、改善計画を立てて、3年を目途に解消していきます。財務状況は旧漁協単位、ブロック単位で管理し、赤字が続けば支所、ブロック内で改善していきます。計画を大きく上回る利益が出れば、販売手数料の引き下げなどにより、組合員に還元していきます。」

高騰の著しい燃油対策は? 「系統2段階制で今よりも安価に供給できますが、民間業者から購入することも現実味の高い選択肢だと思います。」

最後に漁業者や県民の皆さまに一言お願いします。 「組合員によく言うのは、漁協は漁業者が必要があって作った自分たちの組織であり、つづれて困るのは組合員自身ということです。もっと経営のことも考えて欲しい。今、これをやり遂げなければつづれるのを指をくわえて見ているしかなくなりません。また、「魚の値段を上げて欲しい」という組合員は、ニーズに応えていくためには、小さな小さな組織では何も出来ません。県下一つの漁協になって初めてそれに応えることができ



竹村本部長さん

合併推進本部

経営のよい漁協は合併しなくても十分やっています

声も聞かれますか?

「当面は大丈夫ですが、漁業者の減少、資源の悪化等で、5年後10年後には、相当厳しい状況に陥ることは想像に難くないと思います。」

### 流通改善・販売促進はお任せを!

水産物売り出したい、一次加工をしたいなどの相談があれば、まずはお電話下さい。選りすぐりのスタッフを直ちに急行させ、きつとあなたのお役に立ちます!

- 室戸漁業指導所 TEL 0887-22-0645
- 中央漁業指導所 TEL 088-856-1164
- 土佐清水漁業指導所 TEL 0880-82-0569
- 宿毛漁業指導所 TEL 0880-67-0767



### 【竹村さんの横顔】

昭和50年信漁連入会。平成11年当時漁協融資・指導担当であったことから合併指導にも従事。平成17年7月から現職。現在は多忙のため趣味のゴルフが全く出来ず仕事一筋。51才。

### 【編集後記】

当紙発刊後3年間、一月も絶やさず毎月発行してきましたが、先月は長期病氣療養のためやむなく休刊に。読者の皆さま、誠に申し訳ございませんでした。大台を目前にもすると、身体のおちこちにかたが来るのはやはり仕方ないことなんですよかね? (<\_>)